

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

SOS vol. 210通信
H30年2月7日発行
発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ http://www.s-o-s.co.jp

問合わせ・見学 大歓迎！！
《利用状況 案内板 (☆募集中★満員)》
 ☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 6 | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 |

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 20名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 12名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

《2月行事予定》
 2日 節分
 10日 外食デイ
 19日 誕生日会
 20日 避難訓練
《不定期行事》
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《教室案内》
 ・和太鼓 月曜日(年間 35回)
 場所：愛西市川淵コミュニティ
 ・コーラス 水曜日(月 2回)
 場所：喫茶てのひら
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
 各教室月謝制で、定員あり。
 詳細はお問い合わせ下さい。

毎日の訪問で.../ナイス・ホーム
 昨年、12月よりお付合いが始まった94歳のSさん、一人暮らし。『自分で何でも出来る。何も不自由はない。買い物も自分で行ける。』というのがSさんの主張。しかし実際は、『配達を支払いがしてもらえない。火の元が危ない。』『必要な通院が出来ていない。買い物に行けない。』などなど、日常生活に支障が出てみえた。大正生まれ、気丈のSさんは人の『世話にはならん！！』と予防線。まずは、関係作り、生活リズムの把握など、訪問対応からスタート。はじめの一週間は何もお手伝いできずお話で終わってしまうことも多々。それでもスタッフはめげずに毎日訪問しました。1週間ほどすると、買い物に行かせてもらえるようになり、好き嫌いも教えてくれるようになり、…。そして、2月に入り、ついに目標だった“**通い利用**”が実現。迎えに行くスタッフも通いの場にいるスタッフも訪問で関わっていたスタッフなのでSさんに不安な様子はありませんでした。先日訪問した時には「昨日迎えに来てくれると思ったのに…」と荷物に下着を準備して待っていてくれた。以前は、「人の作ったもんは食べたくない！」と調理もさせてもらえなかったが、最近では一緒に出来るようにまでなりました。昨年の12月に比べると、驚くべき変化。それも、毎日の訪問あつての結果かと思っています。馴染みの関係づくりの大切さをSさんを通じて改めて感じさせられました。
 (Y・O)



老いていくあなたへ/ナイス・デイ
 95歳、出会ってから5年…。ずっとYさんと過ごしてきました。歳月が経つにつれ、今まで出来ていた事が一つずつ出来なくなっている。認知症を患い、頭の中が混乱してしまう時も多々ある。いわゆる、“暴言、暴力”も時としては出てしまう。それでも意思疎通はバッチリ出来る時もある。食べる事が大好きで「もっとないか？」とニコリ笑って言われる。何よりも好きなのはお風呂…。「そろそろ出ようか？」と聞くといつも決まって「もうちょっと！！」と返事が返ってくる。
 先日、デイサービスのお風呂で湯船に使っていると「私は色々な事が出来なくなりました。皆さんにやってもらってばかりで迷惑かけて…本当に感謝している…」と5年前の事を思うとやはり“老い”を感じられずにはいられないが、それでもYさんらしく老いていけているのではないかと振り返る。
 優しい家族に見守られ、自分の素直な気持ちを口に出してちゃんと伝えられるYさん。まだまだ長生きしてもっとみんなに甘えていいんだよ
 最後の瞬間まで心穏やかに…。そう願わなくてはならない。(M・O)



節分豆まきの風景

人の心を開くには/ナイス・キッズ
 Mちゃんは、ナイス・キッズを利用し始めて約2年が経とうとしている。Mちゃんが初めてナイス・キッズに来たころは、知らない大人達…じいちゃん、ばあちゃん…、なれない環境であったのは間違いない。
 保育園や学校ではたくさんのお友達の中で過ごしてきただろうが、ここ(ナイス・キッズ)では勝手が違う。さぞ緊張した毎日だったんだろうと思う。しかし、本人の気持ちを自然に汲んでしまう、ここの(ナイス・キッズ)大人たちとじいちゃん&ばあちゃん。Mちゃんを見かけるたびに声を掛け、ちょっかいを掛けまくる2年間。最近何だか表情が柔らかくなってきた。学校から帰って来ると、まずは事務所で「ただいま〜っ」、次はホームで「ただいま〜っ」、宿題片手に「2階で宿題やってくる〜」と愛宕の家へ走って行く。Mちゃん自身も率先してたくさんの人との関わりを楽しんでいる様だ。
 スタッフ:「仕事になら〜ん！邪魔しちゃうだめだよ〜」
 Mちゃん:『はいはあ〜い♪』
 そんな楽しげな会話とかわいい声がよく聞こえるようになった。時には怒られ、泣いてしまうこともある。
 ばあちゃん:『今度から気をつけてね』
 Mちゃん:『ごめんなさい…』
 こんなやり取りも、普通に出来るようになってきた。
 人の心を開くというのは簡単な事ではない。自分が相手以上に心を開かなければ、相手にも開いてはもらえない。利用当初から、Mちゃんに声を掛けてきたみんな(利用者さんやスタッフ)が、それを意識していたのかどうかは置いておいて、その関わりはMちゃんの心が溶ける材料であったのは間違いないと思っている。
 来年度からのキッズは新しいメンバーも増える予定♪また、みんなで声を掛けまくりますよ！じいちゃん、ばあちゃん、スタッフのみなさまに感謝！これからもよろしくお願います♪(R・W)



掃除だけではない/ナイス・ケア
 5年前から一人暮らしのKさん、84歳。病気のため、かがむ姿勢は良くないので、一昨年からは介護保険を利用されることになりました。毎回、在宅ケアサービス(自費)も利用してみえるため、普段使わない部屋の掃除も一緒にお掃除させて頂いています。Kさんは、私たちの訪問前に、掃除道具の準備や出来る部分の掃除を下さっています。「自分で出来るうちは自分で頑張りたい」と口癖のように言われ、訪問中もよく動かれます。一緒に掃除をさせて頂く事でその気持ちを持ち続けるお手伝いが出来ればと思います。が、無理をしてみえないだろうか心配です。また、Kさんとは訪問中によくお話しもさせて頂きます。「ひとりでいるとまあいろいろ考えるわ」と、時折不安な表情をされることもあります。私たちは、週2回伺って、掃除だけ一緒に行うのではなく、心の不安も楽になるような関わりも求められているのではないかと…。そのために、地域資源の情報をお伝えしたり、必要な連携をきちんととっていく事が、Kさんが「自宅で頑張りたい」という気持ちの土台の一つになれるのではないかと感じています。(A・K)

遠慮せずにど〜ぞ.../愛宕の家
 入居者さんの中で、物を集める方は少なくない。収集癖とも言われるだろうか。その中でも最も多いのが、トイレトペーパーやティッシュ等の紙類。何故かトイレトペーパーをポケットというポケットに詰め込んだり、小さく折りたたんで服の中にしまい込んだりされる。また、トイレトペーパーを細かくちぎってベッドや床をいっぱいに見たり…。『オイルショックを経験してこれ、物が無い時代を生きてこれたからこそこか?』とも想像してみるが、『とにかくそうせよにはいられない心境で、そうする事で落ち着くのだろう。』という思いで私もその行為を受け止めている。また、そういう行為を取り上げてしまえば、その方の精神状態のバランスを崩してしまうとも聞く。そこで、『思う存分やらせてあげたい』のはやまやまなのだが、散らばったティッシュを次から次へと掃いたり…。大変な部分もあるのが現状。だから、それらを上手く回避し、出来る限り収集に励んでいただく！癖というのは千差万別。その癖(個性)であふれている愛宕の家は、なかなか好き深く、また楽しい。(K・T)



手作業風景

介護プロフェッショナルキャリア段位制度進捗状況
《段位取得者》
 1~4期生 (12名)
《技術評価中》
 6期生 (3名)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
2月の発送部数 110部

《編集後記》
 最近、一人、車いすで移動してみえる方をよく見かけます。その方は車道を移動してみえます。車はもちろん避けて通っていますが、ちょっと心配になりました。車では気がつかないけれど、歩道って意外とデコボコしているところが多くて車椅子では移動しづらいんですね。(Y・O)